



ボートレース津が現在の場所に移転した時のオープン記念レースのポスター

ういう心配もなく、私を含め選手たちは伸び伸びとレースができました。

## 売上げの一部が公共事業に

**市長** その後、全国的にもボートレースの人気は高まり、ボートレース津も昭和50年には年間137万人が入場しました。実は、私は平成元年に自治省（現総務省）で地方財政に関わっていたころ、収益事業係長としてボートレースの担当をしたことがあります。そのころはボートレースのファンもまだまだ多く、1人当たりの勝船投票券の平均購入額が5万円を超えるなど、とても良い時代でした。また、当時は売上げの一部が公共事業に活用され、津市でも昭和29年から平成15年までの間、学校や保育園の施設整備をはじめ、



市民の皆さんが、より親しく感じるボートレース津を目指していきたいと語る前業市長

下水道や街路といった公共事業に749億円が充てられました。

**倉田** 売上げからいただいたお金ですから、ファンの皆さんにお礼を申し上げたいですね。

**市長** そうですね。平成元年といえば、倉田さんはこの年の9月4日に地元のボートレース津で史上初の3,000勝を達成されましたね。

**倉田** 地元でこういう記録が残せたことは本当に嬉しいことですね。ファンの皆さんの温かい声援と、関係者の方々の指導の賜物だと心から感謝しています。

**市長** 地元のファンの皆さんにとっても喜ばしいことだったと思います。ボートレーサーとしての実力はもちろん、「競艇の神様」と呼ばれるゆえんです。これからのボート界を担う若い選手の皆さんに、エールを送っていただけますか。

**倉田** 自分の実力を発揮するために努力を怠らないことが必要です。整備力を高め、自分の体を鍛えることに専念してより充実した選手生活を送ってもらいたいですね。

**市長** ありがとうございます。

ボートレース津では、ファンの皆さんにますますボートレースを楽しんでいただくため、平成14年にスタンド棟とツッキードームを新たに整備し、さらには平成23年9月に外向け発売所「津インクル」をオープンしました。また平成24年2月には対岸大型映像装置や場内映像設備をリニューアルするなどして、大変好評をいただいています。



倉田栄一氏プロフィール  
昭和7年津市生まれ。昭和27年4月に全国初のレースが開催された年にデビューし、昭和30年代にボートレース界の第一人者として、発展に大きく貢献。平成元年9月4日に津市モーターボート競走場で史上初の3,000勝を達成。平成4年に引退。通算勝利3,088回(SG優勝4回、GI優勝31回)。

これからも多くのファンの皆さんにご来場いただき、レースを楽しんでいただけるよう、選手の皆さんとともに愛されるボートレース津を目指し、頑張ってまいります。今日は60周年を迎えるボートレース津に「競艇の神様」倉田栄一さんをお迎えし、お話を伺いました。どうもありがとうございました。

**倉田** ありがとうございます。

### ◆お知らせ◆

ケーブルテレビ津市行政情報番組では、本紙で掲載した対談を8月1日(水)～7日(火)に放送します。ぜひご覧ください。



ボートレース津のピットから対岸大型映像装置などの設備について話す倉田さんと前業市長